(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和３年９月18日　　企業･団体名：株式会社ツボイ

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場･社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ･性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		･採用、教育、昇進･登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している（研修の実施、相談窓口の設置）				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ･セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール･教育･相談体制を整備している	●		･ハラスメント研修を実施している（※MTにて実施） ･ハラスメント相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ･男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		･業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取り組み、テレワークの導入などを推進し、育児、ボランティア活動に積極的に参画できるなどの環境を整えている。（※地域行事、育児などのシフト変更にも対応している）								8.5 8.8									
	4	【外国人労働者】 ･外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		･外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や、受入環境･労働環境の整備を行っている（交流会、意見交換会の開催など）※今まで外国人労働者を雇用した事が無いため、機会があれば積極的に対応する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	5	【労働安全衛生】 ･業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		･社員、スタッフ向けの労働安全衛生講習会（※定期的MT）を実施している			3					8									
	6	【メンタルヘルス】 ･労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		･メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している （※個別に面談したり等実施）			3														
	7	【ダイバーシティ経営】 ･多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		･多様な人材が活躍できる社内制度を設けている。 （※特に地元高齢者の働き口として積極的に採用している）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8	【人材育成】 ･適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		･研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 （※展示会を通じ社員能力の向上、各種衛生管理などの研修に参加させている）				4	5.5			8	9								
	9	【公正な待遇】 ･雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		･働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員（正社員･パート社員）の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							
	10	【健康経営】 ･従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	･会社が保有する保養施設の使用（淡路島） 従業員が家族旅行などで使用し心身ともにリラックスする事で生産性の向上に取り組んでいる。			3					8									
	11	【新しい生活様式への対応】 ･新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	･時差出勤、在宅勤務（テレワーク等）を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している ･ウェブ会議、ウェブ商談を積極的に導入している ･対面での打合せでは換気を行うとともに、マスクの着用を徹底している			3					8	9.1		11	12					
	12	【デジタル化の推進】 ･労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ･アフターコロナ時代における社会･経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	･会議資料やカタログ等の電子化を進めている。 （※ウェブ商談における会社PR動画などを使用している）								8	9.1		11	12					
環境	13	【廃棄物】 ･廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		廃菌床（産業廃棄物）の商品化 2030年までにカブトムシ飼育用マット、畑のぼかし肥料として商品化											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ･電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		きくらげ栽培工程における冬場燃料の削減とCO2排出量の削減（きくらげ栽培では日本初導入） 2019年よりヒートパイプと言う暖房設備を導入（灯油、重油の1/3削減）							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ･自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		きくらげ栽培工程における冬場燃料の削減とCO2排出量の削減（きくらげ栽培では日本初導入） 2019年よりヒートパイプと言う暖房設備を導入（灯油、重油の1/3削減）							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ･法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		･きくらげ栽培をする上で、法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を検討中（2021年～2030年）			3.9			6.3					11.6	12.4					
	17	【生物多様性】 ･自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		･きくらげ栽培棟がある高知県吾川郡仁淀川町坪井地区の山林、土地等の環境維持に取り組んでいる。						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ･ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		廃菌床（産業廃棄物）の商品化 2030年までにカブトムシ飼育用マット、畑のぼかし肥料として商品化												12.5		14.1			

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●	・2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、CO2の削減に係る計画を立てている （※ヒートパイプの導入）							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●	きくらげ栽培において重要な山の水使用にあたり、定期的に水源を清掃するなど質と量の保全に取り組んでいる。						6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●	・ISO14001、エコアクション21、RE100、REアクション等の取得を検討中			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●	・HP等で環境情報を公開し、環境報告書を発行するように検討中												12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	きくらげ栽培棟内の暖房設備にヒートパイプを設置し、省エネに取り組んでいる。							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	該当なし												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	規格外の商品を余すところなく6次商品化するための取り組みを行っている。 現在検討中の商品企画もあり（食品、美容関係）	1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている															16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している															16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・知的財産に関する研修や勉強会など、侵害防止に対する取り組みを行っている								8.2 8.3	9							
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・社内MTを開催するなど、情報漏洩防止を徹底している															16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	該当なし															16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	調達、製造、在庫管理、配送、販売、消費といった項目を社内MTにて徹底させるように検討中					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		高知県版HACCPに沿ったきくらげ栽培における品質管理（栽培、加工、品質管理）面の徹底。高知県がすすめる、HACCP第3ステージの取得を2030年までに目指す。			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		高知県版HACCPに沿ったきくらげ栽培における品質管理（栽培、加工、品質管理）面の徹底。高知県がすすめる、HACCP第3ステージの取得を2030年までに目指す。									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・再生用紙利用を実施できるように検討中。						6						12	13	14	15		
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●	・自社加工所内の作業テーブル等は地元の木材を使用したものを使用している。						6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・空地を利用し多くわないが太陽光発電を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目															
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		きくらげ栽培の見学、視察など要望があれば積極的に案内を行っている。 また、県や地域行政とも積極的に情報共有を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	もっと高知県産きくらげの魅力を地域の子供たちに知って頂きたいので、コロナ禍がおさまれば、小学校などを訪れたり、子供たちを招き勉強会を実施予定。				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●	「高知県産仁淀川きくらげ」というブランド名で地産地消、地産外商営業に積極的に参加している。								8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・社内MTにて法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全従業員に向けて発信している																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・HPへの掲載、経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・各担当部署の役割を決め、担当者又は責任者（担当役員）を、任命している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・顧客の声（特に苦情）を大事にし、同じミスの内容に改善、顧客に連絡するなどのコミュニケーションをとっている。																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備される仕組み作りを検討中。																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備していく方法を検討中。																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・HP、SNS等で会社の取り組みを公表している。																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・感染症（コロナ対策）など、従業員には「健康について」社内MTを始め様々な場所で徹底させている。									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者の指導・育成に取り組んでいる								8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・作業場において、食料や資機材を備蓄している。				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めていくように検討中。		●	・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めていくように検討中。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・社内でSDGsに関する研修を実施し、社員全員にSDGsへの意識が浸透していく取り組みを行う。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	県外から仁淀川町に移住する人々の働き口になればと思い、事業展開している。				4.4				8.5 8.6									17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●	少しでも地元仁淀川町に貢献できるように、高知県産仁淀川きくらげという地域の名前の入った商品を全国に販売しPR活動を行っている。								8	9		11						